

平成 23 年度
一般入学試験問題

数 学

平成23年1月18日（火）

時間 10時05分～10時55分（50分間）

「はじめ」の合図があるまで、この問題用紙の中を開いてはいけません。

注意事項

1. 問題用紙と解答用紙が配布されます。
2. 問題用紙は1ページから9ページまでです。
3. 問題は【1】から【8】までです。
4. 監督者の指示に従い、解答用紙の注意事項にそって必要事項を記入しなさい。
5. 解答はマークシート式です。最も適切な答えを解答用紙に正しいにマークしなさい。
6. 問題の内容についての質問には、いっさい応じません。それ以外のことがらについて尋ねたいことがあれば、手をあげて監督者に聞きなさい。
7. 監督者の「はじめ」の合図で始め、「やめ」の合図ですぐやめなさい。
8. 定規、コンパスは使用してもかまいませんが図は正確なものではありません。ただし、計算機能を有する機器は使用してはいけません。
9. 計算には、この問題用紙の余白を使用しなさい。解答用紙を計算に使ってはいけません。
10. 1つの には1つの数字が入ります。その数字を解答用紙にマークしなさい。
例)

問題の解答欄が $x = \frac{\text{ア} \sqrt{\text{イ}}}{\text{ウ}}$ で、 $x = \frac{3\sqrt{5}}{2}$ と答えたいとき

下のようにマークしなさい。

ア	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
イ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ウ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

11. 解答が分数で、約分できるときは、約分した形で表しなさい。また、解答が根号のついた数になるときは、根号の中を最も小さい正の整数にしなさい。
12. π は円周率です。

【1】 次の□(ア)～□(セ)に適する数字を選びなさい。

(1) $-7 + 2 = -\square(\text{ア})$

(2) $\sqrt{24} - \sqrt{\frac{3}{2}} = \frac{\square(\text{イ})\sqrt{\square(\text{ウ})}}{\square(\text{エ})}$

(3) $2m - \frac{7m - n}{6} = \frac{\square(\text{オ})}{\square(\text{カ})}m + \frac{\square(\text{キ})}{\square(\text{ク})}n$

(4) $\left(-\frac{2}{3}a^5b^3\right) \div \left(-\frac{2}{9}a^2b\right) = \square(\text{ケ})a^{\square(\text{コ})}b^{\square(\text{サ})}$

(5) $x = 23$ のとき、 $x^2 - 6x + 9$ の値は □(シ) □(ス) □(セ) である。

【2】 次の(1)～(4)のそれぞれについて正しければ○を、誤りがあれば⊖をマークしなさい。

(1) $3 \times 2^4 = 6^4$

(2) $\sqrt{(-3)^2}$ は -3 の絶対値に等しい。

(3) $\frac{2 \pm 5\sqrt{3}}{4} = \frac{1 \pm 5\sqrt{3}}{2}$

(4) $\frac{2}{3}$, $\sqrt{\frac{2}{3}}$, $\frac{\sqrt{2}}{3}$, $\frac{2}{\sqrt{3}}$ の中で最も大きい数は $\frac{2}{3}$ である。

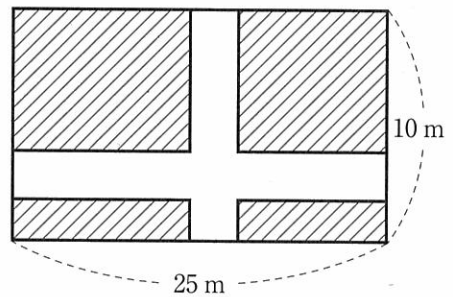
< 計 算 ペ ー ジ >

【3】 次の ~ に適する数字を選びなさい。

(1) 定価 1200 円の文具セット 1 個を 2 割引で売っても、利益が 400 円あった。
この商品の原価は 円である。

(2) 2 けたの自然数がある。その数の 2 倍は、十の位の数と一の位の数の和の
8 倍に等しい。また、十の位の数と一の位の数を入れかえてできる 2 けたの
数は、もとの数より 18 大きくなる。もとの自然数は である。

(3) 図のように 2 辺の長さが 10 m, 25 m
の長方形の土地がある。縦と横に同じ
幅の道を作り、残りで 100 m^2 の花だ
んを作りたいとき、道幅を m
にすればよい。



(4) 関数 $y = ax^2$ において、 x が -1 から 3 まで増加するときの y の変化の割合
が -1 であるとき、 $a = -\frac{\text{(キ)}}{\text{(ク)}}$ である。

< 計 算 ペ ー ジ >

【4】 次の ~ に適する数字を選びなさい。

図は2つの関数 $y = -2x + 8 \cdots \textcircled{1}$,

$y = \frac{a}{x} (x > 0) \cdots \textcircled{2}$ のグラフである。

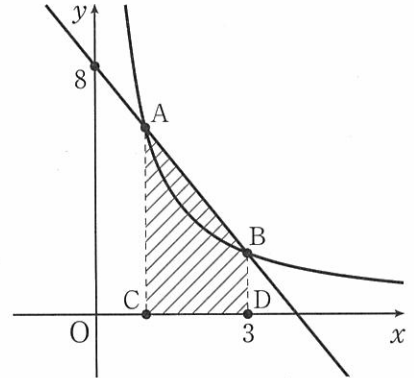
図のように、 $\textcircled{1}$, $\textcircled{2}$ の交点を A, B としたとき

点 B の x 座標は 3 であった。このとき、

$a = \text{ア}$ である。また、A, B から x 軸に

垂線を下ろし、 x 軸との交点をそれぞれ C, D としたときの台形 ACDB の

面積が 8 であった。このとき、点 A の座標は (,) である。



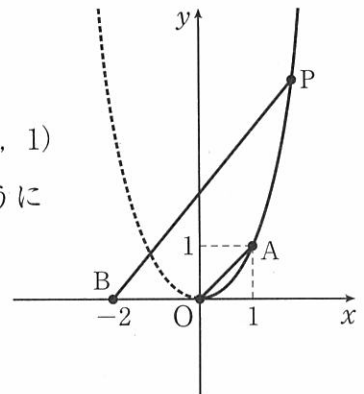
【5】 次の , に適する数字を選びなさい。

図のように関数 $y = x^2 (x \geq 0)$ のグラフ上に点 A (1, 1)

と点 P がある。また、 x 軸上に $OA \parallel BP$ となるように

点 B (-2, 0) をとる。このとき、

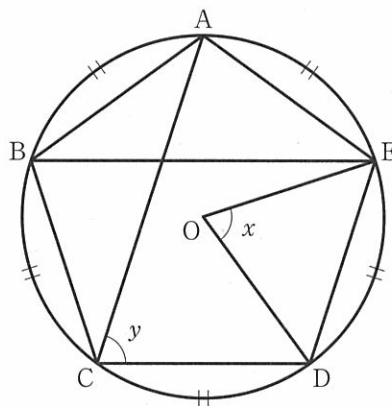
点 P の座標は (,) である。



< 計 算 ペ ー ジ >

【6】 次の ~ に適する数字を選びなさい。

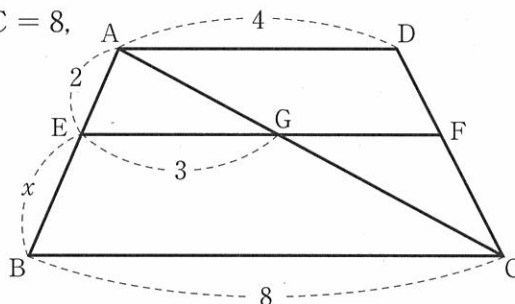
- (1) 図のように円 O の円周上に等間隔に
 点 A, B, C, D, E をとるとき、
 $\angle x =$ $^\circ$ であり、
 $\angle y =$ $^\circ$ である。



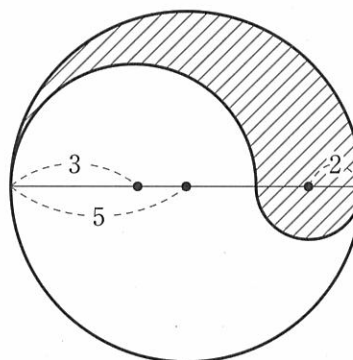
- (2) 図のように $AD = 4$, $AE = 2$, $BC = 8$,
 $EG = 3$, $AD \parallel EF \parallel BC$
 であるとき、

$$x = \frac{\text{オ} \text{カ}}{\text{キ}}$$

である。



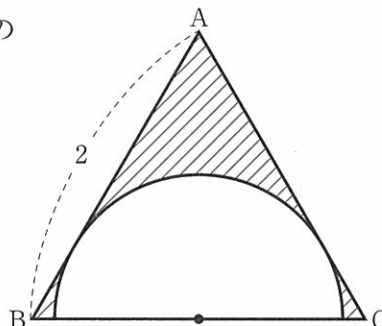
- (3) 図のように、半径 5 の円に半径 2 の円と
 半径 3 の円が接しているとき、
 斜線部の面積は π である。



- (4) 図のように 1 辺の長さが 2 の正三角形 ABC の
 辺 AB と辺 AC に半円が接しているとき、
 斜線部の面積は

$$\sqrt{\text{コ}} - \frac{\text{サ}}{\text{シ}} \pi$$

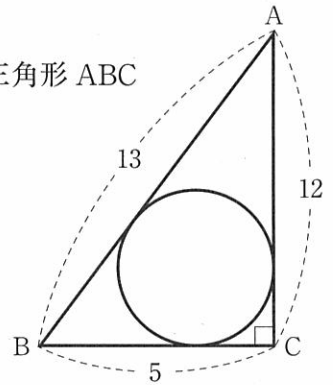
である。



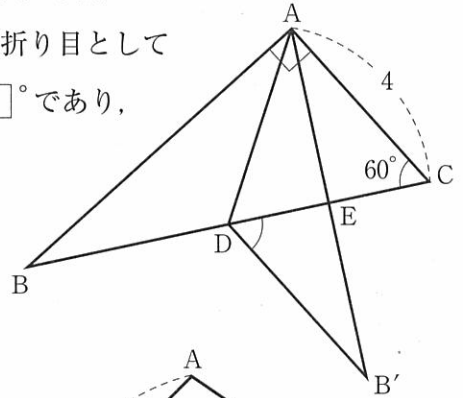
< 計 算 ペ ー ジ >

【7】 次の ～ に適する数字を選びなさい。

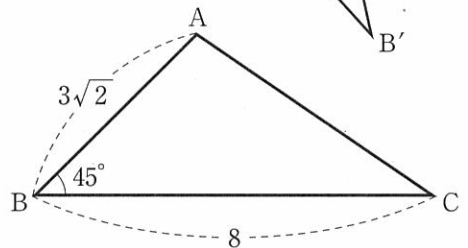
- (1) 図のように $AB = 13$, $BC = 5$, $AC = 12$ の直角三角形 ABC の各辺に半径 r の円が接しているとき、
 $r =$ である。



- (2) 図のように $AC = 4$, $\angle ACB = 60^\circ$ の直角三角形 ABC において $AC \parallel DB'$ になるように AD を折り目として折り曲げたとき、 $\angle B'DE =$ $^\circ$ であり、 $\triangle ADE$ の面積は $\sqrt{\text{オ}}$ である。



- (3) 図のように $AB = 3\sqrt{2}$, $BC = 8$, $\angle ABC = 45^\circ$ のとき、 $\triangle ABC$ の面積は である。



【8】 次の ～ に適する数字を選びなさい。

- (1) 1 枚の硬貨を 3 回続けて投げるとき、3 回とも表が出る

確率は $\frac{\text{ア}}{\text{イ}}$ である。

- (2) 1 枚の硬貨を 4 回続けて投げるとき、4 回ともに表か 4 回ともに裏が出る

確率は $\frac{\text{ウ}}{\text{エ}}$ である。